



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 森永製菓株式会社

コード番号 2201

URL <http://www.morinaga.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 新井 徹

問合せ先責任者(役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 国近 文子 (TEL) 03-3456-0150

四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	50,288	△3.4	5,070	△17.0	5,423	△15.9	2,918	△32.8
30年3月期第1四半期	52,062	9.3	6,105	16.1	6,449	16.0	4,343	14.1

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 895百万円(△81.4%) 30年3月期第1四半期 4,818百万円( 5.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	56.11	—
30年3月期第1四半期	83.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	176,733	98,621	55.0
30年3月期	177,920	100,331	55.0

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 97,119百万円 30年3月期 97,886百万円

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用したことに伴い、前連結会計年度末の総資産及び自己資本比率についても、新たな表示方法に従い、組替え後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	109,000	2.8	11,900	△2.9	12,300	△2.9	8,600	△0.7	165.37
通期	210,000	2.4	20,000	1.3	20,500	0.4	13,800	34.1	265.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	54,189,769株	30年3月期	54,189,769株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	2,184,902株	30年3月期	2,184,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	52,005,175株	30年3月期1Q	52,034,429株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

売上高は、主力の食料品製造事業が前年同期実績を下回り、全体では502億8千8百万円と前年同期実績に比べ17億7千4百万円(3.4%)の減収となりました。

損益は、売上高の減収に加え、広告宣伝費及び物流費の増加等により、営業利益は前年同期実績に比べ10億3千5百万円(17.0%)減益の50億7千万円、経常利益も前年同期実績に比べ10億2千6百万円(15.9%)減益の54億2千3百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期実績に比べ14億2千5百万円(32.8%)減益の29億1千8百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## &lt;食料品製造事業&gt;

## 菓子食品部門

国内では、主力ブランドの「チョコボール」が定番品に加え、新商品も好調に推移し、前年同期実績を大きく上回りました。「ダース」や「おとっと」は前年同期実績を上回りましたが、「ハイチュウ」や「森永ココア」は前年同期実績を下回り、主力ブランド全体では前年同期実績並みとなりました。

その他のブランドでは、「カレ・ド・ショコラ」や「甘酒」において、急伸長していた市場の一巡による需要の停滞、「プリングルズ」は前年の大幅な売上拡大の反動により減収となり、国内全体では前年同期実績を下回りました。

海外では、米国、中国は前年同期実績を上回りましたが、インドネシア、台湾が前年同期実績を下回り、海外全体では前年同期実績を下回りました。

これらの結果、菓子食品部門全体の売上高は275億8百万円と前年同期実績に比べ16億4千4百万円(5.6%)減となりました。

## 冷菓部門

主力ブランドの「ジャンボ」グループや、「パリパリバー」等のマルチパック商品は、ゴールデンウィーク以降の気温低下の影響はあったものの、多様なプロモーションで消費者接点を拡大したことにより、前年同期実績並みとなりました。その他、連結子会社である森永エンゼルデザート(株)の冷凍デザート事業を廃止した影響により、冷菓部門全体の売上高は105億5千万円と前年同期実績に比べ2億6千7百万円(2.5%)減となりました。

## 健康部門

主力ブランドの「i nゼリー」は、気温低下や、競合商品の参入による影響等を受けましたが、3月に発売した「i nゼリー<マルチビタミンカロリーゼロ>」が好調に推移したことで、前年同期実績を上回りました。「天使の健康」シリーズの通販事業は、「おいしいコラーゲンドリンク」や「パセノール<sup>TM</sup>」関連商品が好調に推移し、通販事業全体で前年同期実績を大きく上回りました。

これらの結果、健康部門全体の売上高は101億7千1百万円と前年同期実績に比べ3億6千9百万円(3.8%)増となりました。

[主な商品の前年同期比 (単位：%) ]

菓子食品部門		冷菓部門	
ミルクキャラメル	101	ジャンボグループ	101
森永ビスケット	99	マルチパック	100
チョコボール	123	健康部門	
ダース	105	i nゼリー	101
ハイチュウ	96	おいしいコラーゲンドリンク	113
おととと	103	パセノール™ 関連商品	102
森永ココア	85		
菓子食品主力品計	101		
カレ・ド・ショコラ	84		

※表内の数値は国内売上で算出

これらの結果、＜食料品製造事業＞の売上高は482億3千万円と前年同期実績に比べ3.1%減となりました。セグメント利益は49億2千6百万円と前年同期実績に比べ10億5千8百万円の減益となりました。

#### ＜食料卸売事業＞

売上高は、14億4千2百万円と前年同期実績に比べ4.0%減となりました。セグメント利益は9千4百万円と前年同期実績に比べ6百万円の増益となりました。

#### ＜不動産及びサービス事業＞

売上高は、連結子会社であった森永エンゼルカントリー(株)の事業譲渡に伴い、4億8千9百万円と前年同期実績に比べ24.5%減となりました。セグメント利益は2億6百万円と前年同期実績に比べ7百万円の増益となりました。

#### ＜その他＞

売上高1億2千6百万円、セグメント利益8百万円であります。

### (2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態に関する説明については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度末との比較・分析を行っております。

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は1,767億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億8千7百万円減少しております。主な要因は、受取手形及び売掛金が増加した一方で、建物及び構築物や機械装置及び運搬具が減少したことなどによるものであります。

負債の残高は781億1千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億2千2百万円増加しております。主な要因は、支払手形及び買掛金が増加したことなどによるものであります。

純資産の残高は986億2千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億1千万円減少しております。主な要因は、その他有価証券評価差額金や非支配株主持分が減少したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同率の55.0%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成30年5月11日発表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	35,938	34,657
受取手形及び売掛金	24,848	26,353
商品及び製品	9,781	9,944
仕掛品	922	958
原材料及び貯蔵品	4,835	6,285
その他	3,758	3,356
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	80,077	81,550
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,575	19,498
機械装置及び運搬具（純額）	15,287	14,246
土地	24,407	24,379
その他（純額）	1,872	2,589
有形固定資産合計	62,142	60,713
無形固定資産		
のれん	490	466
その他	268	256
無形固定資産合計	758	722
投資その他の資産		
投資有価証券	28,642	27,561
退職給付に係る資産	3,455	3,441
繰延税金資産	824	758
その他	2,086	2,053
貸倒引当金	△68	△68
投資その他の資産合計	34,940	33,746
固定資産合計	97,842	95,182
資産合計	177,920	176,733

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,581	22,298
短期借入金	1,265	1,231
未払金	10,762	10,681
未払法人税等	2,518	1,186
賞与引当金	2,510	1,317
その他	11,019	12,145
流動負債合計	48,657	48,860
固定負債		
長期借入金	10,000	10,000
繰延税金負債	6,109	6,334
役員退職慰労引当金	80	—
環境対策引当金	370	370
退職給付に係る負債	7,759	7,884
資産除去債務	115	116
受入敷金保証金	3,821	3,820
その他	674	724
固定負債合計	28,931	29,251
負債合計	77,589	78,111
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,187	17,187
利益剰余金	46,853	47,171
自己株式	△2,782	△2,787
株主資本合計	79,871	80,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,772	14,957
繰延ヘッジ損益	△17	12
為替換算調整勘定	775	492
退職給付に係る調整累計額	1,485	1,473
その他の包括利益累計額合計	18,015	16,935
非支配株主持分	2,444	1,502
純資産合計	100,331	98,621
負債純資産合計	177,920	176,733

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	52,062	50,288
売上原価	25,260	23,904
売上総利益	26,802	26,384
販売費及び一般管理費	20,696	21,314
営業利益	6,105	5,070
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	300	330
その他	114	68
営業外収益合計	419	403
営業外費用		
支払利息	29	13
持分法による投資損失	0	5
その他	45	31
営業外費用合計	75	50
経常利益	6,449	5,423
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	73	74
減損損失	63	1,540
特別退職金	74	—
その他	6	—
特別損失合計	216	1,615
税金等調整前四半期純利益	6,232	3,808
法人税、住民税及び事業税	1,477	1,123
法人税等調整額	399	545
法人税等合計	1,876	1,669
四半期純利益	4,356	2,138
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	12	△779
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,343	2,918

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	4,356	2,138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	781	△819
繰延ヘッジ損益	3	29
為替換算調整勘定	△316	△444
退職給付に係る調整額	△13	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	7	3
その他の包括利益合計	461	△1,243
四半期包括利益	4,818	895
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,843	1,838
非支配株主に係る四半期包括利益	△25	△942

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(連結損益計算書関係)

減損損失

当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日）

場所	用途	種類及び減損損失（百万円）			
		建物及び 構築物	機械装置及び 運搬具	その他	合計
インドネシア ジャワテンガ州他	製造設備等	771	722	46	1,540

(資産のグルーピングの方法)

当社グループは、事業用資産については、事業の種類別セグメントを基礎に独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位を識別し、資産のグルーピングを行っております。

(減損損失の認識に至った経緯)

投資に見合う回収が不可能と判断されることから、回収可能価額まで帳簿価額を減額しております。

(回収可能価額の算定方法)

正味売却価額により測定しており、市場価格等により合理的に算定しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	49,772	1,501	648	51,923	139	52,062	—	52,062
セグメント間の内部売上高	116	70	135	322	353	676	△676	—
計	49,889	1,572	784	52,246	492	52,739	△676	52,062
セグメント利益	5,984	88	199	6,272	13	6,286	△181	6,105

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△181百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△186百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	48,230	1,442	489	50,162	126	50,288	—	50,288
セグメント間の内部売上高	123	34	118	276	352	628	△628	—
計	48,354	1,476	608	50,438	478	50,917	△628	50,288
セグメント利益	4,926	94	206	5,227	8	5,236	△166	5,070

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△166百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△171百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、従来セグメント利益の調整額に含まれていたのれん償却額について、当該のれんが帰属するセグメントに係る費用として記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

「食料品製造」セグメントにおいて、減損損失1,540百万円を計上しております。

## 3. 補足情報

## ① 業績

(単位:百万円)

	平成30年3月期 第1四半期		平成31年3月期 第1四半期		前期比較		
	金額	売上高 比率(%)	金額	売上高 比率(%)	金額	売上高 比率(%)	増減率(%)
売上高	52,062		50,288		▲ 1,774		△ 3.4
売上原価	25,260	48.5	23,904	47.5	▲ 1,356	△ 1.0	△ 5.4
販売費及び一般管理費	20,696	39.8	21,314	42.4	618	2.6	3.0
販売促進費	10,119	19.4	9,815	19.5	▲ 304	0.1	△ 3.0
広告宣伝費	1,664	3.2	2,423	4.8	759	1.6	45.6
運賃	2,290	4.4	2,322	4.6	32	0.2	1.4
その他	6,622	12.7	6,752	13.4	130	0.7	2.0
営業利益	6,105	11.7	5,070	10.1	▲ 1,035	△ 1.6	△ 17.0
営業外収益	419	0.8	403	0.8	▲ 16	△ 0.0	△ 3.8
営業外費用	75	0.1	50	0.1	▲ 25	△ 0.0	△ 33.0
経常利益	6,449	12.4	5,423	10.8	▲ 1,026	△ 1.6	△ 15.9
特別利益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	22.8
特別損失	216	0.4	1,615	3.2	1,399	2.8	645.0
税金等調整前四半期純利益	6,232	12.0	3,808	7.6	▲ 2,424	△ 4.4	△ 38.9
法人税等	1,876	3.6	1,669	3.3	▲ 207	△ 0.3	△ 11.0
四半期純利益	4,356	8.4	2,138	4.3	▲ 2,218	△ 4.1	△ 50.9
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(▲)	12	0.0	▲ 779	△ 1.5	▲ 791	△ 1.5	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,343	8.3	2,918	5.8	▲ 1,425	△ 2.5	△ 32.8

## ② セグメント情報

(単位:百万円)

事業	平成30年3月期 第1四半期	平成31年3月期 第1四半期	前期比較	前期比(%)
食料品製造				
売上高	49,772	48,230	▲ 1,542	96.9
(売上高構成比)	(95.6%)	(95.9%)		
セグメント利益	5,984	4,926	▲ 1,058	82.3
食料卸売				
売上高	1,501	1,442	▲ 59	96.0
(売上高構成比)	(2.9%)	(2.9%)		
セグメント利益	88	94	6	107.1
不動産及びサービス				
売上高	648	489	▲ 159	75.5
(売上高構成比)	(1.2%)	(1.0%)		
セグメント利益	199	206	7	103.5
その他				
売上高	139	126	▲ 13	90.5
(売上高構成比)	(0.3%)	(0.2%)		
セグメント利益	13	8	▲ 5	61.1

## ③ 食料品製造事業 売上高・営業利益

(単位:百万円)

	平成30年3月期 第1四半期	平成31年3月期 第1四半期	前期比較	前期比 (%)
連結売上高	52,062	50,288	▲ 1,774	96.6
営業利益	6,105	5,070	▲ 1,035	83.0
食料品製造 売上高	49,772	48,230	▲ 1,542	96.9
営業利益	5,984	4,926	▲ 1,058	82.3
菓子食品 売上高	29,152	27,508	▲ 1,644	94.4
営業利益	2,509	1,352	▲ 1,157	53.9
冷菓 売上高	10,817	10,550	▲ 267	97.5
営業利益	1,609	1,452	▲ 157	90.3
健康 売上高	9,802	10,171	369	103.8
営業利益	1,865	2,120	255	113.7
国内売上高	46,654	45,152	▲ 1,502	96.8
海外売上高	3,118	3,077	▲ 41	98.7
海外売上高比率(対連結売上高)	6.0%	6.1%		